

大宮校区人口

令和5年11月1日現在

町 名	世帯数	男	女	計
加守町1丁目	565	540	525	1,065
加守町2丁目	538	504	555	1,059
加守町3丁目	438	438	410	848
加守町4丁目	1,059	1,028	1,074	2,102
宮 前 町	519	482	530	1,012
西 之 内 町	1,686	1,786	1,906	3,692
合 計	4,805	4,778	5,000	9,778
最大年5月比	△ 291	▲ 630	▲ 751	▲ 1,381



第 61 号

令和6年1月1日

発行所 大宮地区市民協議会
発行所 杉原俊次
編集者 杉原俊次
連絡先 大宮地区公民館内
加守町4丁目6番18号 ☎444-7138

新年のご挨拶

大宮地区市民協議会 会長 杉原俊次



新年あけましておめでとうございます。校区の皆様方には心新たに、新年をお

お披露目

西之内町 世話人会会長
令和5年度
曳行責任者 川上利也

西之内町

大宮校区で唯一のだんじりのある西之内町は令和5年9月に西之内町第四代目地車を新調しました。

昨年まで曳行された地車は昭和11年に新調し86年間は西之内町で曳行されて来ました。我々にとって愛着があり、すごく大好きな一番の地車でありましたが老朽化等もあり町内祭礼団体から地車新調の音が持ち上がり、構想から約7年の歳月をかけ完成した地車であり

ます。大工は植山工務店の佐野和久氏と彫師は山本伸伸氏の力作で新調委員メンバーが中心となり何度も何度も打ち合わせ協議を行い、町民全員が納得のいく最高の地車完成を目指しました。そして、この地車が新しい西之内町の「宝」となり、子や孫またひ孫やその子供まで曳行される地車が完成しました。入魂式当日の9月24日(日)朝4時という早朝にもかかわらず、町内の方だけでなく多くの方が見守る中、地車庫の扉が開き初め

(大宮公民館祭り)など多くの皆様にご参加もいただきコロナ禍前と同様の行事を行うことが出来ました、心より感謝申し上げます。本年も昨年以上に活気溢れる大宮校区として活動を行ってまいります。

最後になりますが、今後とも大宮地区市民協議会の活動にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



また、この日は猛暑も落ち着き前日までの暑さが嘘の様に涼しく天気も快晴、全てが最高の一日となりました。

百年に一度、有るか無いかと言われる地車新調、この年を経験出来る事は我々にとっても最高の気持ちでいっぱい입니다。

この度は西之内町新调入魂式及び御披露目曳行に皆さま多方面からの多大なる御協力と御支援、誠に有りがとうございました。



広告

活動報告

部長 山岡聖義

環境部会

本年度の活動としては、

昨年はコロナの影響で中止した「中央公園の清掃」を8月27日に実施した。

次いで「不法投棄の禁止及び犬のふん放置禁止の啓発看板」設置を9月24日に実施した。

折しも、8月14日から8月15日にかけての台風の襲来により破損した看板や今

変革です。まちが美しくなると「皆が喜ぶ」「このまちに住んで良かった」と思えるまちづくりには是非協力頂きたい。



福祉部会の活動報告

部長 大橋一文

福祉部会

福祉部会の活動につきましては、昨年はコロナ感染症が徐々に収束したことに伴い10月にはだんじり宮入り観覧席及び小学校の運動会での観覧席を設置することが出来ました。

宮入り観覧は西之内町のだんじりが新調され壮大でとても綺麗な地車を観る事が出来て大変喜んで頂きました。また運動会観覧においてはここ数年観覧席を設置することが出来なかったのですが校園長、先生方のご尽力により素晴らしい運動会が開催され、子どもたちの競技にも力が入っていました。



笑顔で一生懸命

部長 野際美均

体育部会

晩秋の候、11月3日(祝)晴天に恵まれ、まなび中央公園スポーツ広場において第43回岸和田市民スポーツカーニバルが盛大に開催されました。各校区は昨年より、良い成績を目指すべく

無く、無事で終え、充実した一日となりました。最後にスポーツカーニバル開催にあたり各町・各団体に多大なる、お力添え、御協力頂き、ありがとうございました。



大宮校区は総勢160名が参加。綱引き、校区対抗リレー、ムカデ競争、タイヤ引き競争と全ての競技において大健闘。参加選手には自軍テントから大拍手の応援で大盛り上がり。綱引きでは1回戦で強豪校区と対戦、惜しくも予選敗退となりましたが、負けても笑顔で来年リベンジを約束。校区対抗リレーにおいても予選敗退となりましたが、最後まで一生懸命走り終えた選手には温かい拍手で迎えました。



人権問題研修会

部長 玉野圭三

人権部会

みなさん「ヤングケアラ」という言葉を聞いたことがありますか？

大人が担うと想定されているような家事や家族の世

話・介護を日常的に行っている、18歳未満の子どものことを指します。家庭内での「手伝い」の域を超えて過度に大きな

「家族の世話をする」という考え方が子供たち自身を追い詰めている危険性があります。周りの人が気付く、声をかけ、手を差し伸べることで「誰かに頼ってもいいんだ」と思える街を皆で創っていきませんか。

岸和田市消防本部見学

部長 竹内政一

防災部会

今回は11月26日に部会員一同で岸和田市消防本部の消防建屋の免震構造、緊急指令室、建屋内部の見学、並びに、緊急時に役立つ、ロープワークなどを学びに行きました。

普段は各部会の活動に比

ふれあい大宮

わいわいみんなでカンガルー

大宮地区福祉委員会 副委員長 中司 佐和子

ふれあい大宮のボランティアの皆さんの協力を頂いて、原則毎月第3水曜午前10時から1時間余り、大宮地区公民館で子育て支援として「親子サロンカンガルー」を開催しています。初めに一人一人のお名前



を呼んで、元気なお返事でスタート。続いて手遊びやふれあい遊びのあと、作品作りやミニ運動会・クリスマス会などの季節行事やお誕生日会を行います。参加の皆さん方がおしゃべりや保育所の先生のアド

幼稚園・保育所再編計画

要望書提出準備

事務局長 善野昌明

岸和田市では令和2年度より10年間を目処として3期に区分して市立幼稚園(23園)及び市立保育所(11園)の再編計画が進められています。

大宮校区では令和4年10月公表の中期計画策定では市立大宮幼稚園及び市立大宮保育所が廃園となり令和10年4月開設の民間認定子ども園に統合されるとされています。

市民協議会ではこの計画が地域に大きな問題無く受け入れられるために、検討委員会にて課題を整理し運営委員会にて検討していましたが、年度末を目処に要望書を提出する予定です。

市が再編の理由に挙げている幼稚園の小規模化・待機児童の増加ですが市内の5園は園児数が一桁ですが

大宮校区(第15圏域・人口1万人)の大きな課題は市の計画で提案されている用地が圧倒的に狭い事と住民が近くの公設施設を選択できなくなることです。

編集後記

大宮地区市民協議会「ネットワーク大宮」第61号をお届けいたします。

2年間広報部会長を務めさせて頂いた皆さまが本誌の発行におきまして多くの原稿並びに写真をご提供いただいた関係各位に心よりお礼を申し上げます。

これからも「ネットワーク大宮」が地域の有用な情報を発信できるよう願っています。

広報部会長 櫻井 定